NPO法人
一関文化会議所 会報

No.44

■令和７年６月17日発行
■NPO法人 一関文化会議所
■〒021-0884 岩手県一関市大手町2-16
一関文化センター内
■TEL FAX：0191-32-4333
月～金曜日 9:00～17:00
■E-mail:npo-bunka@ichi-bun.com
■発　行：理事長 内 田 正 好

市民の皆様が地域の歴史・文化、芸術に触れ、学ぶ機会を下支え
令和７年度 通常総会

令和７年度　ＮＰＯ法人一関文化会議所通常総会は、４月24日に一関文化センター小ホールで開催され、令和６年度事業報告、同一般会計収支決算、令和７年度事業計画、同一般会計収支予算の４件の議案を審議し承認しました。

通常総会理事長挨拶

皆様、今日は。本日は御多忙のところ、ＮＰＯ法人一関文化会議所の「令和７年度通常総会」に御出席を賜わり、誠に有難うございます。数年続いたコロナ禍の自粛のためにトーンダウンしていた様々な活動が次第に回復の兆しを見せているのは好ましい限りです。しかし世界ではロシアやイスラエルの厳しい現実、世界中を揺るがしているアメリカの関税政策、そしてミャンマーの大震災。国内では大船渡の山火事を初め悲惨な事故や事件など、気の休まる暇がありません。そのような中で、大リーグの大谷選手の活躍そして雄星・朗希両選手の頑張る姿は、同じ岩手県民として嬉しいことこの上もありません。

さて、市から委託されて私共NPO法人一関文化会議所は、一関文化センターと勤労青少年ホーム及び女性センターの三館を管理運営して参りました。しかし諸般の事情から、勤労青少年ホームと女性センターは、令和６年度の３月末日を以って閉館となりました。両館利用の皆様には、新たな活動場所を確保され今後も継続されるということで、頼もしく感じております。いずれ私共は、市民の皆様に喜んで参加して頂けるような事業を実施して参ります。

今年度の事業委員会では「一関ふるさと学習院事業」として、源義経にまつわる平泉の世界を学び、平泉を語る上で欠くことのできない史跡を現地に探訪します。

奨励委員会では、当地域の文化・芸術や魅力あるまちづくりに大きく貢献された個人や団体の御功績を顕彰し「一関文化賞」を贈呈させて頂きます。

子ども委員会では、東大生による「出前科学授業」や「一関ふるさと子ども探検隊」を実施して、子供の教育振興や文化振興に取り組みます。

総務委員会では、「会報」を発行し、生涯学習の研修・視察事業として山形の米沢市を訪ね、様々な改革を行った上杉鷹山の藩政を学びます。

結びに、令和７年度も、私共は市民の皆様が色々な形で当地域の歴史や文化そして芸術に触れ、学べるように寄り添います。皆様が豊かな思いに浸られ、心が潤されるようなきっかけ作りと事業展開のために、いわゆる黒衣の役割を担いたいと考えております。どうか今年度も特段の御理解と御支援を宜しくお願い申し上げます。

令和７年度通常総会

議案の内容

議案第１号　令和６年度事業報告

◆一関ふるさと学習院事業
「平泉もう一つの世界　比爪と平泉」
• 講座　３回、現地探訪　１回
延べ参加人数　132人

◆顕彰事業
- 一関文化賞表彰式（令和６年11月21日(木)
  会場：一関文化センター中ホール）

一関文化賞
藤野静枝　様
花泉語り部の会　いずみの里　様
佐久間溪雲　様、石川昇明　様

◆子ども文化振興事業
- 東大生出前科学授業
  萩荘中３年生　55人、一関東中３年生　41人
  川崎中１～３年生　51人
- 春休み親と子のコンサート
  音楽の絵本～コンテネレッツァ～
  入場者　461人
- 一関ふるさと子ども探検隊
  大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢地域の
  小学校児童　19人参加

◆研修・視察事業
- 「鉱山が遺した秋田の近代化産業遺産に学ぶ」
  康楽館、小坂鉱山事務所　76人参加

◆会報事業
- 会報42号、43号の発行

令和７年度通常総会

議案第２号　令和６年度一般会計収支決算報告
議案第３号　令和７年度事業計画

◆事業の概要

(1)　芸術文化、教育に関する事業
- 文化・教育振興のための講座等の開催
- 子どもの文化振興に関する事業

(2)　顕彰事業

(3)　文化、芸術、生涯学習の研修・視察事業

(4)　文化団体等の育成支援
- 文化活動への支援
- 民俗芸能保存・伝承活動の支援
- 郷土文化史の掘り起こし
- 特色ある地域づくり活動への支援

議案第４号　令和７年度一般会計収支予算

令和７年度役員・理事

	理事長	内田　正好
	副理事長	只野　弘三
	副理事長	及川　晃行
	専務理事	熊澤　厚子
	専務理事兼事務局長	佐藤　武生
事業委員会	委員長	畠山　篤雄
	副委員長	石川喜代子
	委員	小野寺　廣
	委員	藤野　秀一
奨励委員会	委員長	阿部　了子
	副委員長	(兼)及川晃行
	委員	岩渕　香織
	委員	及川　和也
子ども委員会	委員長	佐藤　健三
	副委員長	伊藤　福子
	委員	小野寺邦芳
	委員	村上喜久恵
総務委員会	委員長	佐藤　賢治
	副委員長	阿部えみ子
	委員	岩渕由美子
	委員	大河原節子
	監事	山田　共子
	監事	佐藤　一十
	事務局	阿部　静香

文化センターに『多目的室』が加わりました

一関文化会議所は平成20年４月１日から一関文化センター、一関青少年ホーム、一関市女性センター三館の指定管理者として管理運営を行ってきましたが、令和７年３月31日をもって青少年ホームと女性センターが閉館したことから、令和７年度からは文化センターのみの管理運営を行って参ります。

また、文化センター２階に多目的室が新たに設置され、令和７年４月から会議、研修、合唱などの練習に利用されています。多目的室は119.3㎡で１階小ホールと３階研修室の中間の広さがあり、会議形式では40名程度、椅子のみの利用では60名程度が利用できます。どうぞご活用ください。

多目的室（旧軽食喫茶室を改修）

備品等（令和７年４月時点）
机27脚、イス84脚
アップライトピアノ、ホワイトボード（移動式）
テレビモニター、CDプレイヤー、姿見（２台）

令和7年度 一関ふるさと学習院
義経伝説の世界

事業委員会　委員長　畠　山　篤　雄

平泉や奥州藤原氏を語る際、随所に源義経が現れます。判官びいきという言葉も残るほど、悲劇の武将としてのエピソードが伝えられ、浄瑠璃・歌舞伎、特に当地方の南部神楽では「義経物」は定番の人気演目になっています。

令和７年度は義経伝説の世界を学び、伝説と実像の世界に誘います。

また、福島県伊達郡国見町他を訪ね、平泉と関連する地域の12世紀の世界を学びます。

阿津賀志山と義経の腰掛松（福島県国見町）

開　講　計　画

回	開催日時 内容	会場 講師
1	６月24日（火）　14:00 ～ 16:00	一関文化センター 小ホール
	源義経の実像と伝説の醸成 ～『義経記』成立前夜 源義経の伝説は、史実に合うものや伝説から生まれた物語など多種ある。一方『義経記』は義経の物語を主軸とするも義経に対する認識は軽い。義経の実像を確認しつつ、各地の伝説や『義経記』との関りについて考えてみたい。	奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所 古代学聖地学研究センター 協力研究員　前川　佳代 氏
2	７月18日（金）　14:00 ～ 16:00	一関文化センター 小ホール
	義経北行伝説の世界 義経北行伝説のなりたちと発展のあゆみをやさしく解説します。	岩手大学 客員教授　千葉　信胤 氏
3	９月19日（金）　14:00 ～ 16:00	一関文化センター 小ホール
	義経はなぜ腰越に留め置かれたのか ～鎌倉人の境界認識～ 壇ノ浦の戦いで平家を滅ぼした源義経は、鎌倉へ凱旋しようとした。しかし頼朝により腰越で留め置かれ、鎌倉へは入ることができなかった。なぜ「腰越」だったのか。考古資料と文献資料を合わせて、鎌倉の境界について考えてみたい。	鎌倉市教育委員会 主　事　鈴木　弘太 氏
4	10月16日（木）　8:00 ～ 16:00	集合場所：一関市総合体育館 （一関ヒロセユードーム）
	国見町に義経伝説を訪ねる 義経や弁慶の伝説が多く伝えられ、また、奥州藤原氏の歴史にとって重要な地域である福島県伊達郡国見町を巡ります。	国見町文化財センターあつかし歴史館 国指定史跡　阿津賀志山防塁 あつかし千年公園（福島県国見町） 甲冑堂（宮城県白石市）　ほか

郷土の歴史にふれる 一関ふるさと子ども探検隊を開催

子ども委員会　委員長　佐　藤　健　三

３月28日（金）、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域から19人の小学生が参加し、平泉世界遺産ガイダンスセンター、中尊寺、一関市博物館などをめぐり、平泉の世界遺産など地域の歴史を学びました。

写真を撮ったりノートにメモをしたり、ガイドさんと話をやりとりするなど郷土の歴史や文化に興味を惹かれている様子が印象に残りました。

中尊寺にて

親と子のコンサート 音楽の絵本　コンテネレッツァ

文化会議所子どもスペシャル、春休み親と子のコンサート“音楽の絵本”を３月22日（土）文化センターで開催しました。乳幼児含めて約460人の親子が素敵な演奏と動物さんたちのコミカルな動きを楽しみました。

演奏後のロビーでの動物さんたちとのふれあいタイムは、いつもながらの賑わいでした。

令和７年度研修・視察事業
「米沢に上杉鷹山のまちづくりを学ぶ」
６月18日（水）実施
（申込受付は終了しています）

文化会議所入会のご案内

ＮＰＯ法人一関文化会議所に入会しませんか。一関市内に在住する個人、市内に事業所を置いている団体を募集しています。会員には数々の特典があります。

入会の特典　１　一関地方ゆかりの人物事典

２　一関文化会議所創立30周年記念誌「誘い～磐井の歴史と文化」など文化会議所発刊図書等の進呈のほか、研修・視察事業実施時に一般募集より優先して参加の案内と参加費の補助、「一関ふるさと学習院」講座の無料聴講などがあります。年会費は個人（一般）3,000円・（賛助）2,000円、団体10,000円。

資料等の詳細は事務局に問合せ下さい。会員の皆様もぜひお誘い下さい。

◇入会の申し込み・問い合わせ　ＮＰＯ法人一関文化会議所
〒021－0884　一関市大手町２－16　一関文化センター内
電話・ＦＡＸ　0191－32－4333（月～金曜日 9:00～17:00）